



【第〇回】

## 株式会社パラミックス

TDB企業コード：841019362 法人番号：8120901037030  
 所在地：大阪市淀川区西中島3-9-12空研ビル3F  
 TEL：06-4560-3190 設立：2016年6月  
 代表：高木 敏夫氏 従業員：24名  
 事業内容：製造業向け情報システム開発  
 HP URL：https://www.paramix.co.jp/

### DX化の「肝」は上流工程

労働人口の減少が進む日本において、企業が事業継続するためにはDX化が必須条件となりつつある。ただ、DX化をどのように行えば良いのか悩んでいる経営者は多いのではないだろうか。最適なDXを導入する「肝」は上流工程にあると言っても過言ではない。DXをはじめ、情報システムを導入する際、まずは、現在抱えている情報の課題を洗い出し、導入後の理想像を描く。しかし、現実には理想像との乖離が生じ、そもそも理想像が描けないケースも多く、それを適切に導くのが上流工程だ。課題などを把握する丁寧な「要件定義」、それを解決するための「システムへの落とし込み」、具体的なシステムをデザインする「システム設計」、これら上流工程をうまく進められるかが成否の最大の肝となる。

代表取締役の高木敏夫氏

### 上流工程のプロフェッショナル集団

今回ご紹介するパラミックスは、上流工程におけるプロフェッショナル集団だ。特に、製造業向けの情報システム開発を得意としている。例えば、大手メーカーから、「大手コンサルが描いた理想像をなかなか実現できない」との相談を受け、在庫管理や製造過程の流れといった理想像を実現するための要件定義やシステム設計をパラミックスが行い、システム導入を前に進めた実績がある。これが実現できたのは、なんと言っても、製造業の業務ノウハウを熟知している点が大きい。当社のベテランSEは、長年製造業向けのシステム導入を経験し、現場でどのような情報管理が必要かを理解している。

大阪府内にソフトウェア企業は約1,800社あるが、その多くはコーディングなどの下流工程を担当する企業で、システムの全体像をデザインする上流工程を担える企業は少ない。上流工程は、システム側の知識はもちろん、クライアント業界の業務知識、クライアントとのコミュニケーションなど高いスキルが求められ、システムエンジニアの集大成と位置づけられる。

### ノウハウの継承、そして新たなソリューションへ

設立7年目を迎えるパラミックスが今力を入れているのが、ノウハウの承継だ。2020年3月には沖縄県にプログラミング・エンジニアリング業務を主に担うパラミックス琉球を設立し、新卒社員を積極的に採用している。育成は、まずはコーディングなどの下流工程からはじめ、いずれ当社プロフェッショナル達のノウハウを承継していく予定で、現在社内で切磋琢磨している。また、当社は培ったノウハウを生かして、新たなソリューションにも挑戦している。製造業向けのブロックチェーン技術「SMART ENTERPRISE BLOCKCHAIN」だ。このサービスは、ブロックチェーン技術を生かして統合DBを構築し、グループ全体の活動を見える化する。ブロックチェーン技術を使うことでデータの信頼性を担保し、パラミックスの持つメーカー業務ノウハウを詰め込むことで、製造業の実務にフィットする。●年●月のリリースに向けて、現在もサービスに磨きを掛けている。

メーカーのDX化をサポートする存在として、パラミックスの成長はこれから更に加速する。

(取材・文／調査第3部 藤守耕一)